

国体二ユース



新しい炬火イベント

この秋、いよいよ岡山国体が開幕します。大会ブレイクイベントの大会旗・炬火リレーは、これまでの国体では全市町村をトーチで巡行する方式が定着していました。しかし、岡山発の新しいスタイルの国体をめざすため、このたびそれを見直しました。計画では、県下各市町村で創意工夫により採火し、それぞれの地域のイベントなどで活用した後、8月に各地から後楽園（岡山市）に火が集まることになっています。

津山市では…

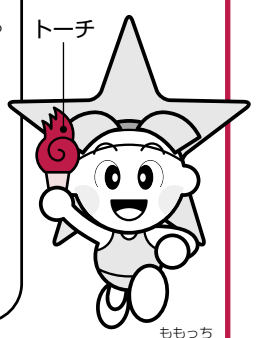
狼煙による炬火リレー

築城400年記念事業の最終日（5月5日、子どもまつりも開催）に、市内で確認されている中世山城の数か所で次々に狼煙を上げ、津山城跡に向かって加茂、勝北、久米の3つのルートで狼煙をリレーします。

- ①各地域の山城を起点に、それぞれ地元の小学生などにより原始的な方法で採火し、狼煙を上げます。
- ②前の地点の狼煙が見えたら次の地点からも狼煙を上げ、津山城跡に

これまでの大会旗・炬火リレー

大会旗・炬火リレーとは、オリンピックでいう聖火リレーにあたります。従来は、県内何か所かで採火した炬火を、大会旗とともに県民の手によって県内全市町村をリレーし、国体メイン会場で炬火台に灯しました。炬火は国体のシンボルであり、大会期間中、選手たちの活躍を見守り続けます。



- ③津山城跡から狼煙が見えたら、子どもまつりに参加している子どもたちによる採火式を行い、大きな狼煙を上げます。そしてトーチに火を移し、築城400年記念事業の閉会式を彩ります
- 向かって狼煙のリレーを行います
- 採火した種火は、その後市の行事などに活用しながら、県の集火イベントまで保存します。

問い合わせ先 国体推進室 432・213

東京通信 45便

津山市東京事務所 ☎03-3592-7955
ホームページ <http://www.city.tsuyama.okayama.jp/tokyo/>

つやま新産業開発推進機構
津山の産学官連携の
取り組みをPR

東京都港区で行われた第34回農村地域工業等導入研修会で「つやま新産業開発推進機構」の産業活性化アドバイザー 藪木伸一さんが「地域からの産学官連携における成果と課題」と題して発表を行いました。この研修会は関係業務を担当している都道府県職員や市町村職員を対象として、(財)農村地域工業促進導入センターの主催で毎年実施。今年是全国から約100人が参加しました。

藪木さんは、津山ステンスネットや津山高専、美作大学技術交流プラザなど具体的な事例を紹介。「産業振興による強い地域づくりは、地域における産学官連携の特徴をいかした産業の集積づくりが重要」と話し、津山地域の産学官連携による成果と、そこから得た課題について発表しました。

津山地域の産学官連携の事例は関係者の強い関心を集め、研修会終了後にも質問する人の列ができていました。

